

## 日本デジタル歯科学会誌 原著論文執筆要領

執筆ボリューム：約 8000 字以下（図表含む）。

マイクロソフト・ワード（.doc）にて入力ください。原稿の初めはタイトル、執筆者氏名（ふりがな）、著者所属、連絡先およびメールアドレス。また、タイトルと著者名を含めた英文抄録をつけてください（本文が英文の場合は必要ありません）。

図表などはカラー、グレースケールともに掲載可となりますので、ご希望のカラーのデータをお送りください。図表の保存形式は.jpg で解像度は 300dpi 以上でお願いいたします。

文献につきましては、数値データに関して出典の記載をお願いいたします。

出典は以下の書式にてご記入ください。

### 投稿様式

1)原稿は、次の順に統一してください。

原稿は、タイトル(和文、英文)、和文抄録(約 300 語)、英文抄録(約 200words)、本文、参考文献、図表の表題と説明文、表、図から構成されます。

2) タイトル(表題)について

最初のページを表題(タイトル)のページとして、原稿の種類を明記した上で、タイトル、著者(共著者含む)、所属を各々和文と英文で記し、続けて連絡者のメールアドレスを記入してください。

3)本文について

① 原稿は A4 サイズに MS 明朝で 10.5 ポイントの文字サイズで記してください。1 頁 35 字×30 行、右スペースを 25mm とする。MS Word をソフトとして用い、doc ファイルにてお願いします。なお、ファイル名は「投稿原稿タイトル-著者名」としてください。

② 原稿の下段中央にページ番号を記してください。

③ 見出しを用いるときは次の順に項目をたててください。

3 → 3) → (3) → a → a) → (a)

④ 数字はアラビア数字とし、単位の記号は JIS・Z8202 および Z8203 に準じ、国際単位系 (SI) を使用するよう努めてください。

例：GHz, MPa, kW, cm, mV,  $\mu\text{m}$ , nA, pF, ml, mmol, N, K, min, cm · sec · deg

⑤ 学術用語は、原則として「文部科学省 学術用語集」にしたがって表記してください。

例：強度→強さ、硬度→硬さ、抗張力→引張強さ、治具→ジグなど

⑥ 商品名、器械名などは、可能な限り一般名を用い、メーカー表示に準じてくださ

い.

- ⑦ 統計処理については用いた統計手法, 有意水準 (例: $\alpha=0.05$ ) あるいは危険率 (例: $p<0.05$ ) などを記載してください.

#### 4)図表について

- ① 図や写真は刷り上り寸法以上, 解像度は 300dpi 以上とし, jpg ファイルとしてください.
- ② 図表は片段か両段一杯になることが望ましく, 刷り上がりを想定して図の大きさが片段で横幅 65 ~ 75 mm, 両段で 140 ~ 150 mm になるように縮小コピーし, 文字, 記号の大きさ, 線の太さなどをチェックしてください. 図中の文字は, 刷り上がりで本文とほぼ同じ 10 ~ 13 級 (7 ~ 9 ポイント), 線の太さは 0.15 ~ 0.3 mm になるよう原図を作成してください.
- ③ 写真の拡大率は, 必要に応じて原図中の右下に単位長さのバーで表してください.
- ④ 記号は中心の明確な○●□■◇◆などを使用してください.
- ⑤ 記号を使用する場合の凡例は, 脚注に置かず図中に入れてください.
- ⑥ 表については縦の罫線はできる限り入れなでください.
- ⑦ 表中の標準偏差は, ( ) もしくは $\pm$ とし, 信頼区間との混同を避けるために説明を入れてください.
- ⑧ 単位などの表記は同一言語に統一してください. 単位 (unit), 平均 (mean), 標準偏差 (SD)

#### 5)文献について

- ① 文献は, 本文中の引用箇所の肩に引用した文献番号を付け本文の末尾に一括して掲載する. 体裁は, <sup>1,2)</sup>, <sup>1-3)</sup>, のようにしてください.
- ② 文献として不適当なもの, 例えば未公表のデータや私信などは文献として引用しないでください.
- ③ 文献の記載方法の基本は次のとおりお願いいたします.

##### 雑誌の場合

著者名 (原則として 6 名までは全員). 表題-サブタイトル-. 雑誌名 発行年 ; 巻 (号\*) : 引用ページの初めと終わり. \*ページ表記が 1 号ごとに 1 ページから始まる雑誌 (通しページでない) に限り, 号も記載

例 : Buckingham TL. Expansion of plaster of Paris. Dent Cosmos 1859; 1(3) : 117-119.

例 : 後藤隆泰, 足立正徳, 亀水秀男, 飯島まゆみ, 西川元典, 土井 豊ほか. 金属焼付用陶材の機械的性質に及ぼす低速亀裂成長の影響. 歯材器 2000; 19:154-161

### 単行本の場合

著者名. 書名. 版数 : 発行所名 ; 発行年. 引用ページの初めと終わり.

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

例 : Phillips RW. Skinner's science of dental materials. 9th ed.: W.B. Saunders; 1991. p.

219-221. ① ② ③ ④ ⑤

⑥

### 分担執筆の場合

分担執筆者名. 分担執筆の表題. 編者または監修者. 書名. 巻などの区別 : 発行所名 ; 発行年. 引用ページの初めと終わり.

例 : 山田早苗. 橋義歯の力学—傾斜歯ブリッジの形成と設計について—. 日本歯科医師会. 新臨床歯科学講座. 3 : 医歯薬出版 ; 1978. 157-165.

### 翻訳書の場合

著者(翻訳者). 書名(翻訳書名. 発行所名 : 発行年 ; 引用ページの初めと終わり) ; 発行年

例 : Davidge RW (鈴木弘茂, 井関孝善). Mechanical behaviour of ceramics (セラミックスの強度と破壊. 共立出版 ; 1982 : p.34-55) ; 1979

### 規格の場合

規格名略号 規格番号—制定年. 規格タイトル名. 発行所名

例 : JIS T 6116-1990. 歯科鑄造用金合金. 日本規格協会

原稿は下記送信先までメール添付でお送りくださいますようお願い申し上げます.

お送りいただいた原稿は、編集委員会にて拝見させていただきますため、お問い合わせ事項がございます場合は、ご確認・ご修正のお願いを差し上げることがございます。

何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

日本デジタル歯科学会編集委員会宛 [gakkai9@kokuhoken.or.jp](mailto:gakkai9@kokuhoken.or.jp)

以上